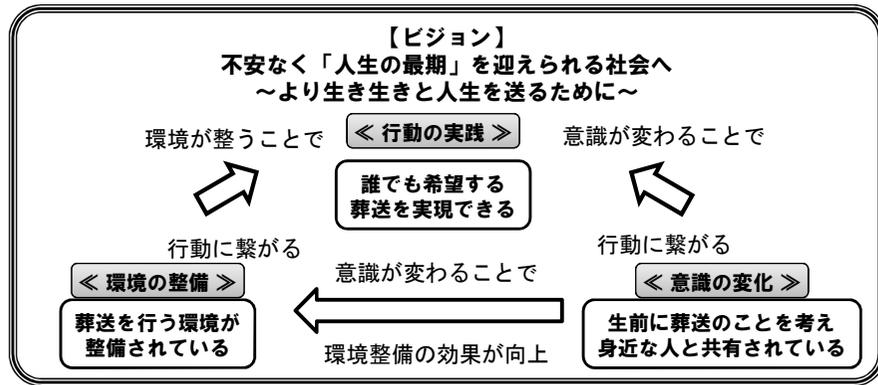


1 ビジョン(案)の変遷

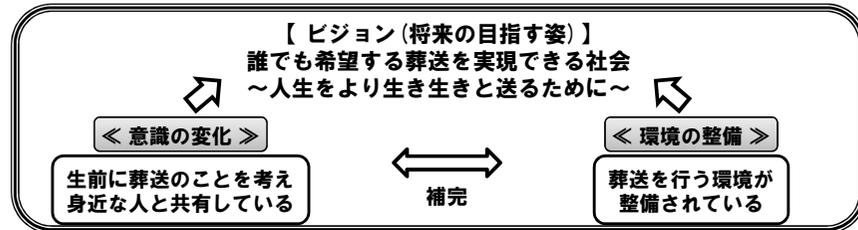
◀ 第5回会議の案 ▶



◀案に対する主な意見▶

- 「より生き生きと人生を送る」は「人生をより生き生きと」の方がインパクトが出る
- 市民がメインなので、意識の変化を左にするべき
- 「誰でも希望する葬送を実現できる」は、行動、環境、意識が組み合わせさり達成できる
- 「環境の整備」と「意識の変化」は行動することも含んでおり、双方向に影響を与える

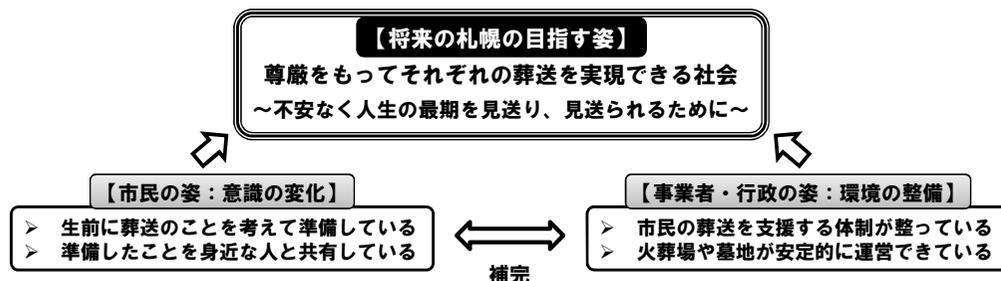
◀ 第6回会議の案 ▶



◀案に対する主な意見▶

- 「誰でも希望する」という部分に違和感、葬送の自由を推奨するよう取れてしまう
- 見送られる側のみならず、見送る側の視点も必要である
- 「尊厳をもって」だと、主體的にという意味が強まる
- 「尊厳をもって葬送を実現できる社会、見送る人・見送られる人」を盛り込むべき
- 全てを主題に入れると長くなるので、主題・副題に分けて表現する

◀ 第7回会議の事前送付案①(10/1送付) ▶



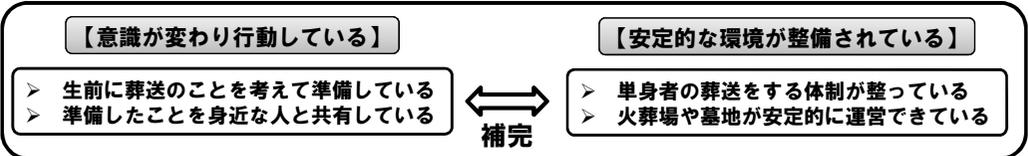
2 ビジョンの最終案

◀ 第7回会議の事前送付案② ▶

【将来の目指す姿】

それぞれの尊厳ある葬送を実現できるまち  
～葬送に不安なく、より生き生きと暮らし続けるために～

【具体的なイメージ】



◀案①から案②へ修正した考え方▶

- 「意識の変化」や「環境の整備」は、ビジョンを実現した状態を具体的に説明しているものなのでイコールで繋いだ
- 多死「社会」において「社会」を目指すのはおかしいので、主題の最後を「まち」とした
- 「尊厳をもって」だと、見送る側の視点しか読み取れないので「尊厳ある」とした(見送られる側の尊厳を保持する)
- ビジョンで示す状態は、見送る側と見送られる側の意識や考えが共有できている前提なので、双方の視点を入れる必要はない(施策の方向性には「見送る側」の視点は必要)
- 「不安なく」だけだと「マイナスがゼロ」になるだけなので、プラスの要素を表現するため副題を「より生き生きと暮らし続けるために」とした

3 ビジョンの候補

◀主題の候補▶

- 尊厳をもって葬送を実現できるまち
- 市民が尊厳ある葬送を実現できるまち

◀副題の候補▶

- ～葬送に不安なく、より生き生きとした今を過ごすために～
- ～葬送に不安なく、安心して暮らし続けるために～
- ～見送る側も見送られる側も不安なく～
- ～今をより生き生きと過ごすために～